

たんぽぽ うしん

第36号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8071 札幌市北区あいの里 1条6丁目 1-2 TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2015年12月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円

アートな時間

vol.2

「山下 清」の作用

アートセンターあいのさと 施設長 碓井 良平

山下清の日記を読んだことがありますか。きっと10人中10人は「障がい者」の描いた、書いた、貼った作品や文章と見てしまいがちです。僕も例外ではありません。今回は彼の日記について考えてみました。「僕は美人も美人でないのも、あまりよくわからないので目方をきくほかにない」。この文は僕にとって強烈な一撃でした。ものごと一切のわからなさを数字に置き換えて、山下一流のとらえ方です。

人間には或る特定の人の美人であるかないかを断言しにくい心理がはたらいてます。

平たく言えば好きずきから始まるのに、山下清には、人びとが美人だと言うとき必ず笑われることを恐れたうえで、『目方』をもって美人不美人の基準に置き換えたほうが公平であると考えました。ここでの数字の値は彼にとってどうでもよいことで、人それぞれの美人不美人があり、美人と決め付けられない。「大勢が本当だといえ、嘘でも本当になるかもわからないので、世の中のことは、僕にはわからないのです」は新聞についての評ですが、実は彼の天才性は、「よくわからない、わからな

いから考える、考えたから言ってみる、言うと笑われる、だからわからない」の連鎖にあります。判断をつけない、考えを先延ばしする態度は、彼の絵の制作にもっとも発揮されます。絵の中にあるように、「60歳ぐらいの人はきたないけれど、60ぐらいの人を一万人も二万人も並べたら、きたなく見えないようになるだろうな。同じものが並んでいるんだから。」彼の目にはひたすらきれいなもの、美しいものにむいているからこそ、『60歳ぐらいの人』を「きたない」と見る事を否定する彼独特の考え方をあみだしたのでしょう。

彼は数字にトリックをいとも簡単にすり抜けて、内と外の一致不一致の問題から距離を置き、あくまでも粘り強く「わかろう」とするための「わからない」態度を貫く芸術家です。いや哲学者です。生半可では太刀打ちできませんね。

今、僕は幸せです。毎日哲学者たちに囲まれています。つい最近、「頭をさげて絵を売るのは下品だ」と教えてくれました。

札幌協働福祉会

アートカレンダー 2016

A3 壁掛けタイプ
価格 1,000円(税込)

お申込み
受付中!



<販売・お問合せ>

社会福祉法人 札幌協働福祉会 TEL 011-770-5111

11/7(土)~8(日)

ニセコを巡る親子旅行

11月7日、協力が企画した今回の「親子旅行」は羊蹄山のふもと晩秋のニセコ町を巡る一泊二日のツアーです。旅行会参加者(74名)は冷え込みが戻った7日早朝、4台の法人車であいの里をスタートし、午後にはニセコ町に到着。皆さんを優雅な羊蹄山の姿が迎えてくれました。そして宿泊はニセコ昆布温泉ホテル「甘露の森」、到着後はゆったりと湯につかり旅の疲れをいやし、その後の夕食、カラオケタイムと親子で参加された皆さんもテーブルを囲み楽しいひと時を過ごされていました。



「ニセコ昆布温泉ホテル「甘露の森」にて記念撮影



ニセコ道の駅から見る羊蹄山



小樽市内のアーケード街を散策する皆さん

楽しいカラオケタイム



恒例のカラオケで盛り上がった宴会会場



親子で TWOショット!

10/30(金)

あいの里ジャズナイト2015

年一度、晩秋のこの時期に北区あいの里で開かれる「あいの里ジャズナイト」(共催: 拓北・あいの里地区センター、札幌協働福祉会)。このライブは今年で8年目を迎え、今までに数多くのプレイヤーにご出演頂きジャズ愛好家に限らず音楽大好き人間には欠かせない音楽イベントになりました。そして今回の出演は「mikio isida quartet」の皆さん。実力派4人のセッションが聴きどころで約2時間のライブは会場の皆さんを魅了しました。



会場を魅了したカルテットの演奏



ステージの背景はアートセンターの皆さんの作品



4人の掛け合いが聴きどころ、ピアノの石田幹夫さんはリズムを感じながら...

10/25(日)

拓北・あいの里福祉センター開設 あいのさとアクティビティーセンター創立20周年

10月25日、札幌協働福祉会は「拓北・あいの里福祉センター開設」と「アクティビティーセンター創立20周年」を祝う記念パーティーを25日の午前、午後と市内北区にある「シャトレーゼガトーキングダムサッポロ」で開きました。午下が記念公演会、午後は祝賀会と、両会ともに、この日の悪天候にもかかわらず大勢の皆様が参加され、会場は祝杯を上げる明るい声に満ちました。



高座名「藤花亭梅殊」を持つアートスタッフ早坂さんの落語



山田太郎さんの音頭で「祝杯」をあげる会場



「だるま森・えりこ」さんの楽しいステージ



カラーコネクションの皆さんによるリズムカルなダンス



辰田理事長ら皆さんで祝いの「鏡開き」



▲拓北あいの里連合町内会松井会長の挨拶

10/31(土)

第4回「北の聲アート賞」受賞

10月31日、2015年度第4回「北の聲アート賞」の贈呈式が札幌市の道立文学館で行われ、「審査委員特別賞」を受賞した協働福祉会の「あいのさとアクターズ」と指導されてきた俳優の木村功さんがこの日、他の受賞者(3個人1団体)の皆さんと一緒に晴れの贈呈式に臨みました。

◇「北の聲アート賞」は道内の文化人らでつくる文化塾「サッポロ・アートラボ」(柴橋伴夫代表)が2012年に創設したもので道内で革新的な文化創造や創作活動に取り組んでいる個人や団体に贈られるものです。



表彰状を手に喜びの列席者



アクターズを代表して表彰状を受け取る森下さん(写真/中央)

インタビュー 13

ひまわり連合自治会
会長
かや みつお
加谷 光男氏



「めずらしい苗字ですね」と聞くと、北海道では親戚だけではないかという。ひまわり連合自治会長に就任して今年で3期目。自治会はいろいろ課題を抱えているが、「役員一同力を合わせ課題解決に取り組んでいきたい」と語る。

住み良いまちづくりを目指して 諸課題に取り組むひまわり連合自治会

▼ひまわり連合自治会が発足したのはいつですか？

加谷 昭和39年に「ひまわり団地」ができ、その後昭和40年の西町内会を皮切りに北・東・南と町内会が発足していきました。46年にその4町内会で設立したのが「ひまわり連合自治会」です。その後設立された拓北はまなす町内会と中央町内会が加盟し、いまは6町内会で構成されており、世帯数は約1,900戸、人口は約4,300人になっています。

▼ひまわり連合自治会は、どんな活動をされているのですか？

加谷 自治会活動の拠点である「拓北ひまわり会館」の維持管理、防火・防犯、防災活動の他、交通安全や青少年育成活動などに単位町内会と一体となって取り組んでいます。また、「心に残る故郷づくり」ということで「拓北盆まつり」を継続して実施してきました。

▼これからの課題として、どんなことがありますか？

加谷 ひまわり会館はできて20年になります。会館があってサークル活動やさまざまな地域行事が保障されるので、来年度に向けて大規模補修を予定

しております。また、団地内のスーパーが閉店して日常生活に支障をきたしていますので、引き続きスーパー等の誘致活動に取り組んでいきます。更に加えて、パートナーシップ排雪料や電気料金の高騰で自治会の財政収支が悪化しており、改善が急務です。収入面では自治会への加入促進、支出面では事業の見直しなど検討委員会を立ち上げ改善に努力しています。

▼ひまわり団地の高齢化率はどのくらいですか？

加谷 29%と推測しています。拓北地区の24.1%、あいの里地区の17.6%、札幌市全体の23.6%に比べ高い状況になっており、高齢者対策が重要ですので、ひまわり長寿会主催の文化芸術祭の後援や街路花壇の整備のお手伝いなど、地域の団体と協力して、住み良いまちづくりを進めています。

▼ご趣味は？

加谷 旅行が好きですが、時間的余裕がなくて、なかなか行けません。いまはパークゴルフを楽しんでいます。

♪ 地域行事の紹介

第18回文化フェスタ盛大に！

10月3日(土)・4日(日)、拓北・あいの里地区センターにて文化フェスタが開催されました。地区センターを拠点に活動しているサークルが日頃の成果を発表する年間最大の行事です。

作品展示には15サークル、ステージ発表には21団体が参加しました。

ステージ発表の最後に、あいの里東中学校合唱部が登場。全国合唱コンクール全国大会に何度も出場。北海道を代表する有名合唱部の素晴らしい歌声に来場者は感動していました。



木彫りサークル「きごころ」の展示スペース

第19回みんなで歩こう会

9月27日(日)、拓北・あいの里連合町内会の主催で「みんなで歩こう会」が開催されました。

約110名の地域の人たちが参加し、協働福祉会からも29名が参加しました。



事業所紹介コーナー ⑭

住宅型有料老人ホーム

たく・あい たんぽぽ

Aタイプ：2人部屋3室、Bタイプ：1人部屋22室

2015年10月1日より入居開始

札幌市北区あいの里1条6丁目1-2 2階

TEL 011-770-5054 / FAX 011-770-5211



当ホームは、平成27年10月1日に学園都市線あいの里教育大駅から徒歩3分という交通の便のよい所に開設しました。

住宅型有料老人ホームで、施設内で受けることのできるサービスは、基本的に食事のサービスと緊急時の対応と日常生活の支援だけとなります。介護が必要な場合は介護保険等で要介護認定を受けていただくことになります。

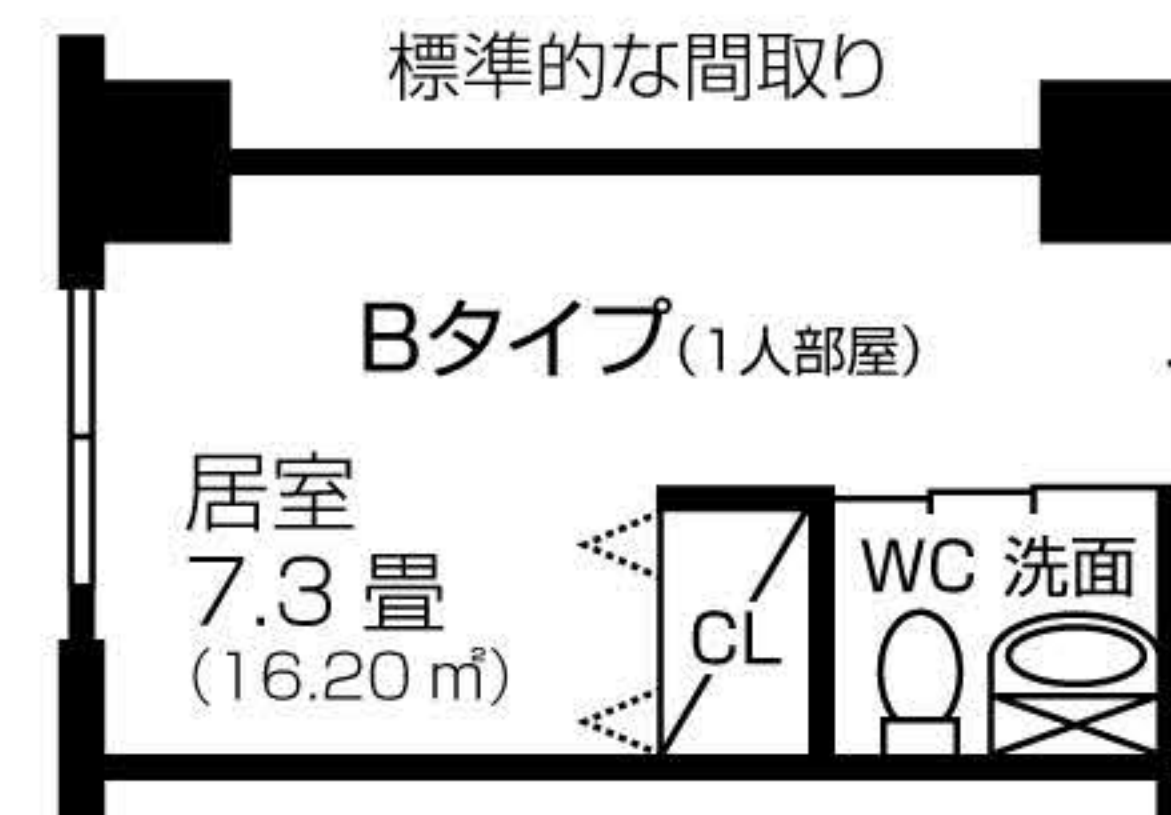
要介護度が決まって、ケアプランを作成する住宅介護支援事業所と契約していただき、必要に応じて訪問介護、訪問看護、福祉用具レンタルなどの介護サービスを利用することが可能です。健康管理や緊急時の対応などは医療機関との迅速な連絡等により対応ができます。

空き部屋もあり、即入居可能です。随時、見学もできますのでご相談ください。

【居宅介護支援事業所たんぽぽ 所長 宮川 亮一】



食堂、談話室



山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設「山の家きょうどう」からの通信を掲載します。

福島で避難保養相談会

この冬休みも30人を超える子どもたちが山の家に来てきます。

冬休みを前に避難保養相談会が11月7日福島県相馬市、8日同郡山市で開かれ、山の家も参加しました。これは「うけいれ全国」という全国的なネットワークが定期的で開催しているもので、北は北海道、南は沖縄の団体がブースを出し、保養や移住の相談に乗っています。山を家のブースにも「子どもだけを送り出したいのですが、まだ空きがありますか」といった相談が相次ぎました。この冬休みも放射能から逃れて30人を超える子どもたちがやってくる予定で、スキーや雪遊び、クリスマス、お餅つき等の準備をすすめています。



福島県郡山市で行われた保養相談会

あくていぶで贈る厳選詰め合わせ

北海道ぎょれん



便利な
個別包装で
おとどけ

全て北海道産!

◆ぎょれんまるごと
一夜干しセット(7種) **5,500円**

- ・ほっけ開き1枚・宗八かれい3枚・一夜干いか1枚
- ・柳がれい1枚・こまい300g・さば開き1枚・にしん開き2枚

◆浜ゆで毛がにセット
冷凍 500g程度×2尾 **7,800円**

当別・高岡アクティビティーセンター

◆無添加漬物セット

- ・さわやか大根 160g×2
- ・粕みそ大根 160g×1
- ・ビール漬け 160g×1

1,300円



◆桜うどんセット

- ・桜うどん 250g×4
- ・春夏秋冬だしの素 500ml×1

1,900円



仁木町「岩本農園」
◆緑健とまとの
濃〜いジュース

1,000ml×2 **2,700円**

1,000ml×3 **3,900円**

※写真は2本セットです。

夕張 森農園
◆北海道夕張長芋



内容量5kg(4~5本) **2,900円**

▼お電話でのご注文

011-778-2377

▼FAXでのご注文

011-778-2375

全商品全国送料無料

※掲載商品はほんの一例です。
他多数の商品を取り揃えておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

「自然志向の店 あくていぶ」は障がい福祉サービス事業として就労支援を行っているお店です。



■営業時間 平日 10:00~17:00
■定休日 土曜・日曜・祝日
<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1(歩道橋すぐ横)
TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375

行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 1月5日(火) ひまわり自治会新年交礼会 場所:ひまわり会館
- 1月7日(木) 拓北・あいの里連合町内会新年交礼会 場所:拓北・あいの里地区センター

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 12月23日(水)~29日(火) 「おもいっきり冬休み in 北海道 2015」 場所:仁木町「山の家きょうどう」



HSK たんぽぽ(うい) 第36号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

10月1日より連絡先が変わりました。
おかけ間違いのないよう、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会
TEL 011-770-5225
FAX 011-770-5112 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻525号
[発行] 2015年12月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫
〒002-8071 札幌市北区あいの里1条6丁目1-2
TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子